

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
ハッピー川口駅西口教室		2025 年 10 月 1 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		利用人数に応じて、支援数（集団プログラムの実施）の調整を行っております。	現時点では教材や設備が不足している。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2		より良い支援のための人員確保、専門性の向上が今後の課題だと考えます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか、また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	入口に段差あり。お子さまに応じた支援室を検討し、調整を都度行っております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日、消毒・清掃を徹底し、適宜環境を整備しております。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		事前に保護様にも許可を得て、個別の支援でクールダウンを行えるようにしてあります。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		朝終礼で改善点や問題解決をその都度、行っております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		職員全員で共有し、共通認識のもと、改善策を講じております。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		定期的な面談、職員会議で職員の意向を支援や教室業務を取り入れます。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		必要に応じて、連携しております。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		研修を受けることはもちろん、受講後は全職員への報告で内容を共有しております。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		お子さまの現状の把握に努め、お子さまや保護者様のニーズを伺い、その都度支援に取り入れております。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		お子さまや保護者様から伺ったニーズは必ず、全職員に共有し、適切な支援案を検討した上で作成しております。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		児童発達支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援を行っております。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		支援に担当制を設けていないため、どの職員もお子さまそれぞれの状態を把握した上で、職員の共通理解の下、支援計画を作成をしております。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	支援準備の段階で、個別支援計画の確認、前任の指導員からの引き継ぎを受けております。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		適切な時期での個別支援から集団支援への移行のご案内や関係機関との連携依頼をさせていただいております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		毎月、職員会議やイベント会議にて職員全員で検討、その後各プログラム担当者が設定、支援担当が立案をおこなっております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		支援に担当制を設けていないため毎回異なる支援担当者がプログラムに応じて、支援内容を検討しております。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		契約の段階で個別支援と集団支援の併用をおすすめし、利用いただいております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	日頃から、活発な意見交換を心がけ、特に終礼時はその日の支援内容を全員で把握しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	毎日、朝終礼時にその日の支援に関する情報共有を行っております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援ごとに記録をとり、その日の終礼で内容や共有事項を全職員で確認しております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		日頃から、活発な意見交換を行い支援内容や支援計画の見直しを進めています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達支援管理責任者と職員全員で現状について確認した上で、選抜された職員が参画するようにしております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			今季からサービス利用を開始しているため今後連携を行って参ります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1	定期的に園訪問を実施し、園と事業所間の支援内容の情報共有及び相互理解を図っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8			今季からサービス利用を開始しているため今後連携を行って参ります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2		現在は実施されていませんが、今後実施を検討して参ります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	2		今後必要に応じて実施して参ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		来所の際はフィードバックを通じて情報共有を行っております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		必要に応じて実施しております。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		変更が生じた際は都度、掲示物の更新、保護者様への説明を行っております。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		日頃から園やご家庭での困りごとや課題を共有し、また計画作成前にはアセスメント面談を実施しております。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		個別支援計画の更新時はお子さまと保護者様に職員から説明の上、同意の署名をいただいております。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	2	必要に応じて、面談を実施しております。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8			今後必要に応じて実施して参ります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		当教室では、苦情受付対応者、解決責任者を設け、迅速かつ適切に対応できるよう努めております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		定期的にブログや通信を更新しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		鍵のかかるキャビネットにて厳重に保管しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		お子さまに応じてオープンエスジョンとクローズクエスジョンを使い分けるよう心掛けております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4	今後、地域情勢を鑑みて検討して参ります。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		マニュアルの周知を職員間で定期的に行っております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		年2回、火災・地震を想定した避難訓練と年に1回、水害を想定した避難訓練を実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時に署名いただく書類にて確認を行っております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		イベントにて食品を扱う際や外出の際はアレルギー同意書及び、当日の朝、口頭でもお子さまや保護者様へ確認を行っております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		研修への参加を必須としております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		モニタールームの『利用者閲覧ファイル』にて掲示をしております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットが発生した際は速やかに対応、報告、共有を徹底して再発防止に努めております。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		研修への参加を必須としております。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		記載を必須事項としております。		